

地域医療連携室通信

2007 (H19) 9・10月号 (第12号)

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

TEL・FAX : 0969-62-1547 (直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122 (代) FAX: 0969-62-1546

URL: <http://www4.ocn.ne.jp/~kamiama/>

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠

上天草総合病院 理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療を目指します。
2. 私達は、地域に根ざした心あたたかな医療をめざします。
3. 私達は、患者様に安全・安心な医療を提供できるように努力します。
4. 私達は、安心して退院できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

動脈硬化・血管疾患外来開設

担当医師: 心臓血管外科 中道 昌道
循環器科 脇田 富雄

●「人は血管から老いる」と言われています。食生活や生活習慣の欧米化にともない、日本人においても動脈硬化性疾患が急増してきています。誰でも若い頃から血管の内部が変化し、動脈硬化が始まっているのです。動脈硬化は進行し、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症などの原因になります。また、その進み方には食生活や運動不足などの生活習慣が大きく影響しています。とくに高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満を合併している方は発病の危険率が增大します。早めに血管の状態を把握し対処することが重要です。定期的に「動脈硬化検査(血圧脈波検査)」を受けて血管の健康度を知り、生活習慣を改善することが、動脈硬化の何よりの予防につながります。これからの生活を楽しむためにも、ぜひ「動脈硬化検査(血圧脈波検査)」をおすすめします。



●動脈硬化が原因となって脳梗塞、心筋梗塞などの重篤な疾患を引き起こすことは良く知られていますが、その他にも胸部・腹部大動脈瘤や下肢閉塞性動脈硬化症などの疾患も最近よく見られるようになってきました。

胸部・腹部大動脈瘤は動脈硬化により動脈が弱くなった部分が「コブ」のように拡張するもので、大きくなって無症状のことが多いのですが、一旦破裂すると急激な痛みとともに出血性ショックをきたす非常に危険な疾患です。

下肢閉塞性動脈硬化症は動脈硬化により下肢動脈が狭窄や閉塞をきたす疾患で、腰痛、下肢の冷感、間欠性跛行(数百メートル歩くと下肢や腰の痛みが出現するが、少し休むとまた歩けるようになる)などが特徴的な症状です。ひどくなると下肢の血流が悪くなり、潰瘍を形成したり壊死をおこしたりすることもあります。

当院ではこれらの血管疾患についてのご相談を受ける窓口として、動脈硬化・血管疾患外来を2007年10月より設けることと致しました。血圧脈波検査、血管超音波検査、CTやMRIによる血管描出検査、必要であれば血管造影検査などを行います。検査の結果で、必要ならば内服治療、さらにはカテーテル治療(現在、当院では施行しておりませんので他院を紹介いたしますが、今後は当院でも行なっていくよう準備を進めております)や手術による治療(現在、当院では施行しておりませんので他院を紹介いたします)を行います。上記の大動脈瘤や下肢閉塞性動脈硬化症のほかにも、下肢静脈瘤、下肢静脈血栓症など血管に関することであれば遠慮なくご相談下さい。

受付(循環器科外来にて) : 毎週金曜日 午後2時～午後4時 / 心外外来診察日 第2金曜日午前中

予約受付電話番号 : 0969-62-1122 (内線) 134 (循環器科外来)

直接外来受診をして頂いても構いませんが、宜しければ前もって予約を取っていただくと、スムーズに行くと思います。

看護師勉強会 「誤薬防止対策」

看護師 磯部 洋子

誤薬防止対策について改訂した所と再確認を目的に発表しました。

- ①指示受けにおいては確認方法や口答指示受けの注意点を述べ
- ②薬剤の受領と準備では処方意図を理解しダブルチェックする事
- ③患者への与薬では誤認に気をつける方法と薬の作用・副作用を理解して与薬(注射)する事等を述べ誤薬防止の5R(正しい薬剤・量・方法・時間・患者)で締め会場からはわかりやすかった。初心に戻り見直しができる等の感想を頂きました。



小児科勉強会

平成18年10月10日から、1ヶ月に1回、第1火曜日の12:30~13:00まで小児科勉強会をおこなっています。小児科医田原がおこなっています。都合により、第1が第2になったりすることがありますが、常に火曜日に行っています。内容は、かなりレベルの高いことから、基本的なことまであり、繰り返すことも多く、又、症例なども紹介しています。

1回目	小児疾患	染色体	7回目	免疫	小児科
2回目	小児疾患	検査の見方	8回目	免疫	小児科
3回目	小児疾患	内診・発疹	9回目	免疫	小児科
4回目	小児疾患	中医学	10回目	免疫	小児科
5回目	小児疾患	生化学	11回目	生化学	小児科
6回目	インフルエンザ	免疫	12回目	生化学	小児科



平成19年度 第1回市民健康講座

「健康な妻であるための女性医学そして理解ある夫であるために」 —産婦人科医の立場から—

診療部長兼産婦人科部長 姫野 隆一

アンケート集計 講演についての市民の感想

- 理論的にもかわらず、とても分かりやすかったです。理にかなったことばかりで納得させられました。笑いも交えてありましたし・・・今日、出席した人はまた行こうと思います。(男・37歳)
- 現在更年期まただ中、更年期は誰にでも訪れる通過点なのだと、明るくすることが良いのだと分かりました。ただ、夫や周囲の理解が得られず、いろいろすることが多いのですが、カミングアウトして今の自分の状況を理解してもらう努力はしたいと思います。(女・53歳)
- とても分かりやすく、笑いもありよかったです。(女・50歳)
- たいへん勉強になりました。ありがとうございました。(女・65歳)
- はじめて写真を見ての説明で、詳しく勉強できました。(女・75歳)
- 健康についてたいへんよく分かりました。一日一回する事、よく分かりました。(女・68歳)
- 先生の講座はとても分かりやすかった。本日はスライド付きで特に良かった。(女・64歳)
- 今後またお聞きしたいと思います。(女・78歳)
- 母と一緒に聞きに来ました。(女・33歳)
- たいへん有意義なお話でした。(女・71歳)
- 姫野先生のお話は友達から聞いておりましたが、時々笑いあり、冗談ありで楽しかった。(女・67歳)
- またお話を聞きたいと思いました。(女・57歳)
- 現在私達は清潔ばかり目くらたててしまいがちです。体に免疫つけるとのかけあいが、むずかしい者だと思います。孫の発熱で苦しんでる時、ついつい熱冷ましのこと口に出してしまいます。その時すぐ薬だ注射だと言うのはおかしいと注意されてしまっていた事が少し納得できたように思えてきました。有難うございました。(女・60歳)
- 楽しく聞けました。(女・58歳)
- もう少し深く学びたいです。(女・55歳)
- ありがとうございました。あらためて自分の体を理解して、いたわってかわいがりたいと思います。(女・45歳)
- 主人も一緒に聞いたら良かったと思います。(女・62歳)
- 非常に良かった。もう少し若い人達にも聞いてほしい。(女・60歳)
- 大変良く分かりました。(女・79歳)
- 私達が知らないことまで詳しく話して下さり非常に為になり、年を取った私でも聞いてよかったです。(女・70歳)



研修会・勉強会予定表

みなさまの参加をお待ちしています

10月 2日(火) 小児勉強会「生化学1」	12:30～	当院 6階 講堂
10月 4日(火) NST 勉強会	12:30～	当院 6階 講堂
10月 6日(土) 平成19年度第2回市民健康講座 ●演題:「消化管内視鏡のうんちく話」講師:南 信弘 医師	松島総合センター アロマホール 10:00～	
要旨:現代の医療技術の発達はめざましいものがあり,それは消化管内視鏡の分野でも同じことがいえます.今まで内視鏡が到達しなかった小腸の中まで観察できるダブルバルーン内視鏡の開発や,消化管の粘膜を細かく観察できる拡大内視鏡,早期胃がんに対する内視鏡的治療(内視鏡的粘膜下層切開剥離術)など,例を挙げればきりがありません.今回の公演では,「内視鏡」についての興味深い豆知識から,現在の「内視鏡」検査・治療はどこまでできるか までいろいろな「うんちく話」をしたいと思います		
10月 10日(水) 人事考課について	17:30～	当院 6階 講堂
10月 12日(金) 糖尿病教室	18:45～ 20:15	当院 6階 講堂
10月 13日(土) 第13回熊本県国保地域医療学会 当院発表演題 虚血性心疾患患者における頸動脈狭窄に対する検討 臨床検査技師 堀江成美 外来待ち時間の現状と対策 <外来患者様へのアンケート調査から> 看護師 佐藤亜希	熊本市 熊本テルサ	
10月 18日(木) NST 勉強会	12:30～	当院 6階 講堂
10月 19日(金) 看護師勉強会	12:30～	当院 6階 講堂
10月 21日(日) 熊本市親子喘息学級	9:00～	熊本市総合体育館
10月 25日(木) インターネット安全教室	14:00～16:00 松島総合センター アロマホール	

医師紹介

南 信弘(みなみ のぶひろ) 消化器内科

①出身地:熊本県八代郡宮原町(現:氷川町)

②経歴

平成12年3月 自治医科大学 卒業

平成12年6月～平成14年5月 熊本赤十字病院にて研修

平成14年6月～平成16年5月 泉村椎原診療所にて所長として勤務

平成16年6月～平成18年5月 球磨郡公立多良木病院にて消化器科として勤務

平成18年6月～平成19年5月 自治医科大学内科学講座消化器内科学部門にて研修・勤務

平成19年6月～ 上天草市立上天草総合病院にて消化器内科として勤務

③趣味:フットサル(最近全然やってない), 合唱

④家族紹介:妻 1人, 子供 1人

⑤上天草総合病院の印象:自分の考える地域中心の医療を実践できる病院だと思います。

⑥座右の銘:『「食」こそ命』

⑦今一番欲しいもの:6つに割れた腹筋

⑦ひとこと:“おなかの中”の健康を維持し,皆様にいつもおいしい食事を食べていただくのが,私の消化器内科としての仕事です.何卒よろしくお願いします。

